

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域でその人らしく暮らせる支援をしていく。	○	地域行事への参加近隣へ当ホームの行事案内を届けるなど地域への理解を深めている。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	地域交流に参加していく。ホームの催しに参加を呼びかける。	○	地域交流(スカイクロス、保険センターでの映画鑑賞、編物教室参加等)クリスマス会への参加呼びかけ
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域へのアプローチとして千代原口ニュースを作成し、年4回家族には送付し、地域には自治会回覧板にて行っている。		
2. 地域との支えあい				
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩時等に近隣の方々に挨拶する。又、犬の散歩中の方が話し掛けてくださるようになっている。	○	近隣へ呼びかけて、介護相談や認知症、介護の教室など進めてゆきたい。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方によるお茶会を年2回実施している。	○	お茶会の回数を増やしていきたい。又、GHの行事案内を増やし、来てもらう機会を増やす。

洛和グループホーム千代原口(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	高齢者ボランティア受け入れ施設として登録している。	○	ボランティアを受け入れ、利用者様高齢者の方双方により充実した生活を送っていただける場を提供する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年頂いた評価(1時間でも施錠をしない工夫)を職員と話し合い出きる限り施錠しないよう務めている。	○	日中施錠せず、職員見守りの中、外のベンチに座って過ごされている。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月間の現状を伝える。問題点、疑問点については地域包括ケアマネ、民生委員の方の助言が非常に役立っている。	○	家族様の参加率が悪い。参加して頂ける家族様を増やしたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ボランティアの情報提供のため、頻繁に伺い、サービスの質の向上に取り組んでいる。	○	西京区内事業所会議に参加する。西京ボランティアサークル(ちぎり絵)を受け入れているが、今後も受け入れてゆきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	介護事業部の研修を受講し理解を深める。参加したものが会議にて研修内容を発表し、他職員に周知に務める。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	介護事業部の資料を会議にて話し合い、全職員の意識を高める。現場のニーズに合わせた研修をおこなっている。	○	研修の増加、質の向上を目指す。

洛和グループホーム千代原口(2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、解約時共、時間をかけて説明を行い、理解を図る。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情を受けた職員が申し送りノート、介護日誌に記録、カンファにて話し合う。玄関に苦情箱設置。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	千代原口でのひとときに生活状況を記載、金銭出納帳を同封し、家族様にお渡ししている。職員の異動は変更時お便りや口頭にて連絡している。受診、薬変更、体調変化時などFAXと電話連絡にて詳細に伝えている。	○ 月初めの生活状況、健康状態など日々の様子をお便りにて送付している。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様アンケートを配布し、意見を収集している。できた意見は会議にて話し合う。データをまとめ書面にて家族様に返答している。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファにて話し合い、意見、提案を運営に反映させる。	○ 活発な意見が出ており、運営に反映されている。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員間でスムーズに対応できている。又、レクリエーションや研修、会議などあらかじめ分かるものは勤務表製作時に調整し、緊急時については管理者、リーダーに連絡、相談し出勤できる職員を要請できるようにしている。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員異動は最小限に押さえている。	○ 1Fの職員は2Fに、2F職員は1Fに顔を出し、お互いの利用者になじみの職員として親しんでもらう。

洛和グループホーム千代原口(2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内研修を受けるよう努力はなされていると思う。法人外の研修には人員不足などもあり、参加できづらい。</p>	<p>○</p> <p>新人職員を中心にホーム内での教育を充実してゆきたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域運営推進委員会を2カ月に1度開催して民生委員等との情報交換を行なっている。</p>	<p>○</p> <p>洛和会中京事業所ブロック会議にて他GH(6箇所ある)の取り組みを参考にしている。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休憩時間をとりにくく、休憩時間中にくつろげる場所がない、ロッカールーム等もあることはあるが、ロッカーは3、4ヶ所のみでほとんどの職員の荷物は倉庫の床に置いている。洛和会がカウンセリングを行っている。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>自己評価が年2回あり、目標等を記載する。管理者が面接して職員個々の思いを把握する。</p>	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>面接時に利用者様の思い、願いを聞き取るよう心掛けている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用に至るまで、利用者様、家族様の思いを時間を掛け聞く。</p>	

洛和グループホーム千代原口(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本部が統括している。	○	体験入所は行っていないが、見学を行っている。時間帯によっては食事をとっていただいている。GH専門の相談員と管理者が先方に出向いて情報収集を行っている。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	”自宅”という認識を持ってもらい、くつろげる場にできるように、自宅で使用していた家具やご家族様の写真を置くなど行い、必要な時ご家族様との相談を行なっている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活の中で、雑務よりも最優先は利用者様の対応とすることを念頭において訴えには必ず耳を傾けている。		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	レク等に参加していただいた時に近況報告をし、利用者様との密接な関係を保つよう務めている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	レクへの参加を呼びかけ、利用者様と家族様とが過ごす機会を作っていくより良い関係が築けるよう支援している。	○	これまでの生活歴などの情報を収集し、今後の支援に取り入れてゆくように努力する。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	職員が様子観察し良い関係が途切れないよう支援している。	○	昔住んでいた地域へドライブに行ったり、写真や話題をだして昔を思い出せるよう努める。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクを行いそれを潤滑油としてよりよい関係になるよう職員が支援している。毎日の暮らしの中で共有できる時間を持ち、楽しめる環境づくりをするよう努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後もご家族様がボランティアとして毎月読み聞かせに来て下さる。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に利用者様やご家族様から、情報を収集し、ニーズを把握しアセスメントしている。また日常生活の中で利用者様の様子や会話の中で思いや意向を把握し、スタッフが情報を共有し支援している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に利用者様やご家族様から生活歴や生活環境などの情報を収集し、今までの生活を少しでも尊重できるよう支援している。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日の過ごし方については、個人のペースを尊重し、無理のないよう言葉がけや配慮をしている。日々変化するし心身の状況を観察し、管理日誌や申し送りノート等で記録し、スタッフ間で共有し、総合的に把握するようにしている。また、利用者様のストレングスな部分を把握出来る様に務めている。	○	個別レクを中心に担当者を決める。状況把握に努め、カンファレンスで検討、ケアプランにつなげるようにする。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の生活の中での心理的、身体的変化をチェックし、スタッフ間でカンファレンス(月2回)を通して話し合い、又、ご家族様からの意向や情報を踏まえて具体的な介護計画をスタッフ全員で作成している。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者様の状況に応じ、日々の気付きや意見を取り入れ、家族様、往診ドクター、訪看、職員が問題点や支援方法を話し合い介護計画の見直しを行なっている。	○	モニタリングを3ヶ月に1回行っている。

洛和グループホーム千代原口(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の毎日の状況、ケア等を細かく記録している。又、管理日誌として、一日の生活状況や心身の状態も記録し、様観が必要な事柄、急変等はボードや申し送りノートに記入し、情報を共有しているがスタッフ間の連携の徹底が出来ていなかったり、ケアの実践等個人差がある。	○	申し送りや記録スタッフ間の連携を徹底できるように務める。記録方法、状況把握、ケアの実践等の個人差をなくすよう研修や指導を行なう。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院を母体とし、介護支援部としての訪問看護ステーション、居宅介護事業所等と連携し、事業所の多機能性を生かした支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	老人保健センター主催の映画鑑賞、編物教室に参加している。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域包括ケアマネに相談し、地域開催の催しの参加を支援している。	○	地域運営推進委員会にて情報をもらってる。又西京事業所会議でも情報収集をしている。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在該当なし		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様、ご家族様の意向を踏まえ、かかりつけ医に日々、報告、連絡し、特変があるときは、指示を仰ぐ。週一回の往診日には前もって一週間の各人の身体状況等を細かく報告し往診時にはスタッフが立会い、適切な医療ケアにつなげる。		

洛和グループホーム千代原口(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症外来受診の予約が入らず、実行できていない。	○	予約が入り次第、受診していく。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週1回、同じ事業所から看護師が訪問し一人一人の身体状況をチェックし、必要な処置や健康管理についてのアドバイス、指導を受け、日々のケアに活用している。	○	緊急時、必要に応じて昼夜問わず電話相談ができる。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、グループホームでの情報を提出し、病院、ご家族様と連絡、面会をし、連携体勢を取り、利用者様が安心して入院生活を送れるよう支援している。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族様に来ていただき往診ドクターより十分な説明をしていただいている。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族様に来ていただき往診ドクターより十分な説明をしていただいている。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	必要に応じ、ご家族様に本人の現状を説明し、医師、看護師、ケアマネと連絡を取り合い、精神的、身体的なダメージの緩和に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者様のプライドを傷付けない言葉掛けを心掛ける。カンファレンスを中心に話し合いをすると共に、記録についても注意を払うようにしている。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者様の思いを汲み取り、行動に沿う支援を心掛ける。	○ 職員とご利用者様の信頼関係を作り、思いがだせるように働きかけていく。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様お一人お一人のニーズを把握し、それに対応出来る様にこころがけている。	○ ご利用者様の声やご家族様の要望なども聞き、その人らしい支援をしている。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご利用者様の希望があれば望む店に行っている。	○ 身体的な理由で散髪店に行けない理由でビューティーヘルパーを利用していき、定期的に理美容を行なっている。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	おやつ作りをご利用者様と一緒にこなう。食事の下準備を手伝ってもらう。食後の皿洗いなどを一緒にする。	○ 日常的にご利用者様が手伝えるような環境を作っていく。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご利用者様の好みを知り、それに応じて、食事の出し方、飲み物など、対応している。	

洛和グループホーム千代原口(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ご利用者様の訴えがあれば、すぐに対応する。訴えがない場合、排泄のパターンをチェックし声かけし誘導する。	○	ご利用者様の訴えを見逃さない。一人一人にあった排泄パターンを把握し、対応していけるよう支援していく。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご利用者様の体調、精神状態などをみながら声かけし1日置きに入浴できている。又、身体的な理由により、1対1、もしくは1対2にて対応行なう。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	傾眠されている時は、椅子からソファに移動してもらっている。必要に応じ、午前、午後にはベッドにて休息してもらう。	○	本人の状態を見極め、休憩時間を判断している。
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	園芸(畑を作り、野菜を育てる)、おやつ作り、フラワーアレンジメント等ご利用者様のニーズに応じた楽しみごとを提供し、気晴らしの支援をしている。	○	今、行なっている事を充実させ、またご利用者様がやりたいこと、行きたいところなどの声が出るようにしていきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	レクリエーションの時お金を持参し、職員と共に買物を楽しめる時間を設けている。	○	自分のおこづかいで買い物が出来る機会を増やしてゆきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩に出る、外気浴を楽しむ、一緒に買い物へ行く等の支援をしている。	○	希望に沿った外出が出来る様にしていく。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族様と一緒に墓参り、映画鑑賞等に出かけられる。又、レクリエーションを企画し、他のご利用者様と外出する機会を作っている。		

洛和グループホーム千代原口(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	遠方に住まれているご家族様からプレゼントが贈られた時、お礼の電話をして頂いている。(職員がかけて、途中話していただく。)	○	特に遠方のご家族様はなかなか会うことができない方もおられるので、手伝いながら手紙を書いてみたりして、ご利用者さまとご家族様の関わりを持ってもらえる工夫をする。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時、リビングや各居室等好きなところで過ごしていただいている。また、いつでも来て頂けるようにしている。ご家族様と落ち着いてゆっくり過ごしていただけるようにしている。	○	現在、過ごせる場所がリビングか居室しかなく、ホーム内のソファで他利用者と共に過ごしてもらっている。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	リビングで過ごす時、移動が車椅子の方でも椅子に移り過ごしていただいたり、外へ出たいと言われる方には職員が傍につき外出を楽しんでいただいたり身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	○	自ら動くことのできない方などは、ケアしていく中でご利用者様の細かなサインを見逃さないように何をしたいのか、どこへ行きたいのか考慮してケアをしていけるようにする。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	やむを得ず、一時的に鍵をかけている時間はあるが、その他は出さず鍵を開け、好きな時間に外へ出て過ごせる工夫をしている。	○	今後、今まで以上に、日中鍵を掛けないケアに取り組む為に、ご利用者様お一人お一人との関わりを深め、所在把握を十分にしていく。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	全利用者のリスクアセスメントを行ない家族に説明、理解を深めている。各職員がご利用者様個々に関わり、信頼関係を築きながら、把握し、事故に繋がらないよう配慮している。	○	日中、歩行時等転倒の危険性がある方などは事故に繋がらないよう所在、様子を把握していく。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険なものは、手の届かない場所、見えない場所へ置いているが、必要なもの、置いていることで落ち着けるものについては、ご利用者様の状態に応じて置いている。	○	ご利用者様が穏やかに生活する為に必要なものは各居室において置くべきである。又、注意の必要なものは、職員があるものを把握し、随時、注意していく。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒の危険の高い方の見守り、離設のある方の所在確認の徹底に務めている。事故防止のため、ご家族様了解のもとセンサーを設置し安全の確認をしている。	○	各ご利用者様のADL等十分に把握し、今後もその方に応じたケアに取り組んでいく。

洛和グループホーム千代原口(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアル作成し、対応について把握している。	○	ご利用者様の急変や事故発生時、的確な行動ができるようマニュアルの把握している。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に非難訓練を行なっている。	○	当ホーム独自の避難手順をマニュアル化している今後、全職員に周知徹底行なう。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	全利用者のリスクマネジメントを行ない、状況の変化があった場合はその都度リスクの変更を行ないご家族様に説明をしている。ご家族様との信頼関係を築き、十分に話し合いをしている。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体温、血圧測定を午前、午後と行い、体調変化の早期発見に務めている。状況と必要に応じ、ドクターに指示を仰ぎ、それを申し送りによって、対応に結び付けている。	○	ドクターによる往診を週1回。訪問看護による往診を週1回行なっている。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋をケースにはさみ、各自理解出来る様にしている。状況と必要に応じ、ドクターに指示を仰ぎ、調節している。服薬一覧表を作成し、職員の目に付くところに貼り、確認しながら服薬介助を行なっている。	○	服薬の支援と症状の変化の確認に務め、申し送りにより、職員全員が変化を把握している。新しい処方が出た場合職員間で回覧確認を行なっている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘予防として、水分と食物繊維を十分摂取できるよう配慮し、散歩等で運動確保に努めている。	○	日々の排便の有無を確認し、記録により職員全員が把握し、必要に応じ薬での排便コントロールを行なっている。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝、就寝前のが磨きかみがいを行ない、義歯は毎晩消毒を行なっている。歯の無い利用者にはガーゼを使った口腔ケアを行なっている。	○	舌磨きを充実させたい。

洛和グループホーム千代原口(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事は個人に合わせ提供している。水分量はチェック表で摂取量の把握をしている方あり。</p>	○	<p>夏期は全体的に水分量を増やし、食事摂取も低下する為、栄養バランス工夫し献立していきたい。</p>
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症予防、対応はカンファレンスにて取り決めしている。</p>		
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>旬の食材で季節感、新鮮、安全な食材を確保している。調理用具については煮沸消毒、塩素漂白にて雑菌処理を行っている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>				
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>玄関、建物周囲には花壇やベンチが設置され、ゆっくり談話や近隣の方々とのふれあえる場がある。</p>		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感のある飾り、花など設置している。廊下、居室、玄関などにベンチやソファを設置し、自由に過ごせる場所がある。</p>	○	<p>まだまだ不十分な点もあるため更に取り組みを進めてゆきたい。</p>
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ご利用者さまの関係考慮し、席替えしたり、穏やかに過ごせる場の提供をカンファレンスで話し合っている。</p>		

洛和グループホーム千代原口(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の清掃、衣類の整理など本人に声かけ頻回に行い、転倒原因になるものがないようチェックしている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビング内の換気はこまめにやっている。ご利用者様の年齢に合わせた空調管理を行なっている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者様の近くで家事することにより自発的に生活する工夫している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各ご利用者様の状態に合わせて、マンツーマンケアにて不安のないように自立支援、見守りしている。	○	職員が利用者様に「助けてもらう」という気持ちで接することにより、自発的行動を促すことができる様心がけている。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外回りやベランダで園芸を楽しみ、水やりする事を日課としている。	○	2Fベランダでのプランター、家庭菜園を考えている。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない

洛和グループホーム千代原口(2階)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

高齢化、重度化してきている当ホームでリスクアセスメントを中心にご利用者様のリスクを把握し、職員の対応を統一し、ご利用者様が安心出来る様に取り組んでいる。又、ご家族様にリスクを詳細に報告し、理解を深め、信頼関係を構築している。